

星の子だより



第14号 2013年11月発行
東北大学病院病後児保育室
星の子ルーム

東北の短い夏も終わり、季節は秋から冬へと移り変わりつつあります。大学病院内の木々も鮮やかな緑から黄色へと化粧直しをしているようです。今年の夏は手足口病やヘルパンギーナなど夏風邪が重症化し完治まで長くかかったお子さんが多くいました。これからはインフルエンザや胃腸炎が流行する時期に入りますが、バランスのいい食事を心がけ、睡眠をたっぷりとり、家族みんなで病気をよせつけない身体作りをしていきましょう。



第23回全国病児保育研究大会に参加して

7月14日・15日に山口県宇部市にて開催された全国病児保育研究大会に今年も参加してきました。今年は保育看護だけでなく、喘息や予防接種、薬の特徴や投薬などの専門的なセミナーが多数開催され、大変学びの多い研修になりました。また、今年認定制度が始まる「病児保育専門士」についての講演会がありましたが、私たちスタッフも資格取得に向けて取り組んでいます。

この研修で院内病児保育に取り組む施設からの現状報告や課題を語り合う機会がありました。どの施設も現状に満足することなく、さらによりよい保育・看護を実践できるよう努力していることがあらためてわかりました。

今回の研修で学んだことを活かし、テーマである「やさしく見守ろう～みんなちがってみんないい～」のようにお子さんひとりひとりに合わせた保育看護を行っていききたいと思います。



☆予約・キャンセル☆

予約時間は7:15～18:00です。キャンセルされる場合は当日の朝8:30までにご連絡ください。

また翌日の利用可能人数を留守番電話のメッセージでお知らせしています。ご利用に際して、ぜひお役立てください。

☆駐車場☆

現在、医学部工事のため職員駐車場が縮小されています。そのため、ご利用の際お待ちになることもあるかもしれませんが、ご了承ください。

またホームページに詳しい地図等を載せていますのでご参照ください。

★避難訓練をしました★

地震を想定とした避難訓練を行いました。「ぐらぐら揺れたらどうしたらいいかな？」と尋ねると、「急いで逃げる！」と答えるなど子どもたちも真剣に訓練に参加してくれました。定期的に訓練や話し合い、または避難グッズの点検をしながら子どもたちと一緒に意識づけをし、いざという時に落ち着いて判断、行動できるよう努めていきたいと思っています。



テーブルのしたに ひなん！



せんせいはなしを よくきいて..



あせらず みんなで あんぜんなぼしょへ。

《地震が発生したら・・・》

- 落下物がないスペースで揺れがおさまるのを待つ
- 安全確認をする
- 防災頭巾を身に付けたりおんぶ等をして避難に備える



星の子ルームの外に避難する場合は外来診療棟前（正面玄関前）の広場に移動、待機する

◎予約・問い合わせ 022(717)7819

◎メールアドレス hoshinoko@bureau.tohoku.ac.jp

◎ホームページ <http://www.morihime.tohoku.ac.jp/hurdling/hoshi.html>